

## 「第三次仙北市観光振興計画」策定業務委託公募型プロポーザルの実施によせて

仙北市はこれまで、『第2次仙北市総合計画』で「小さな国際文化都市～市民が創る誇りあるまち」を掲げ、それを平成30年から5年間『第二次仙北市観光振興計画』に落とし込んで政策、施策に取り組んできました。

特に第二次計画では、体験型観光の推進や、インバウンド需要に応える形で国際化を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症などにより、その進め方を大きく考え直さなければならない時代になりました。

今回、第二次計画が終了するに当たり、令和5年度からの5年間を計画期間とする『第三次仙北市観光振興計画』は、私が選挙公約で掲げた「市民の幸福度日本一」を目指すため、数多ある市内の観光資源をとことん活かした観光産業を推進していき、観光客満足度向上だけでなく、市民生活の向上にもつながるような視点を大切にしたいと考えています。

そして、ウィズコロナ・ポストコロナの新しい生活様式や、デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速化など、刻々と変わる観光ニーズに対応する観光施策と将来展望を見据えて、高度で専門的な観点からの取り組みが必要であることから、初めて観光振興計画策定を委託事業としてプロポーザル公募することにしました。

第三次計画の策定は、観光庁の「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」を参考に、次の3つの理念に基づいて進めたいと考えています。

- （1）観光を通じた市民の幸福度向上（観光都市だからこそ得られるシアワセ）
- （2）観光客の満足度向上（新しい旅のカタチの提案による観光の高付加価値化）
- （3）持続可能な観光マネジメントの確立（サステナブルツーリズムの実践）

また、受託した事業者様には、ぜひ次の点について留意をお願いします。

- （1）策定における基本的な理念をしっかりと意識して取り組んでいただきたい。
- （2）現状の調査は、対面調査や既存データ活用だけでなく、RESASや観光DMPなどDXを駆使して、多角的・統計的な調査をお願いしたい。
- （3）観光振興に関係する各団体の代表者や学識経験者、行政関係者等で構成し、観光振興計画に関する協議及び検討を行う策定委員会、及びワーキンググループを設置し、市民の声を反映しながら策定にあたっていただきたい。
- （4）振興計画には、市が5年後に目指す姿（グランドデザイン）を明示し、市民の幸福度向上、観光客の満足度向上、サステナブルな観光地の3つの観点で成果目標の明示と数値化、および成果目標に到達するために必要な年度毎の行動目標を明示していただきたい。

仙北市にとって初めての取り組みとなる観光振興計画策定の業務委託実施、ぜひ事業者のみなさまの力を借りて、内容濃くかつ実現可能性の高い計画としたいと考えておりますので、思いを共にしていただける事業者のみなさまの応募をお願いいたします。

令和4年7月25日  
仙北市長 田口知明